

履修モデル (小免許型)

科目区分		1年次	2年次	3年次	4年次	履修単位数	卒業要件	
専攻科目	演習・卒業論文に関する科目	◎基礎演習	1	◎演習Ⅰ	4◎演習Ⅱ ◎卒業論文	4 4	13	
	保育に関する科目	(1)保育学 ◎●保育原理	2				2	
	教育に関する科目	(1)教育学 ◎●●教育の理念と歴史 ◎▲教育の制度と経営	2 2	○教師論 ○特別支援教育概論	2 2	2		14
		(2)教育心理学 ◎○●発達と学習の心理学	2	○◎発達と学習の心理学	2	2		
	保育・教育の内容と方法に関する科目	(3)教科の内容 △生活科概論 △音楽基礎 △小学校英語	2 1 1	△社会科概論 △数学概論Ⅰ △造形基礎	2 2 1	▽体育実技Ⅲ ▽造形応用Ⅰ	1 1	12
		(4)教科等の指導法 ○生徒指導論(進路指導を含む)	2	○教育の課程と方法(情報通信技術の活用を含む) ○国語科指導法 ○社会科指導法 ○算数科指導法 ○理科指導法 ○生活科指導法 ○外国語科(英語)指導法 ○道徳教育の理論と方法 ○特別活動・総合的な学習の指導法	2 2 2 2 2 2 2 2	○音楽科指導法 ○園画工作指導法 ○家庭科指導法 ○体育科指導法	2 2 2 2	28
	保育・教育の実習等に関する科目	(2)教育実習			○教育実習指導(幼・小) ○教育実習Ⅲ ○教育実習Ⅳ	1 2 2		5
		(3)実践演習			○教職実践演習(幼・小)	2	2	2
	小計		14	29	22		11	76
	免許要件外の専攻科目と共通科目(超越科学領域含む)		ライフデザイン基礎 △スポーツ学A	2 1	▽身近な現象の観察と科学 △家庭概論Ⅱ ▽美術概論	2 2 2		20
共通科目	基幹科目	ライフデザイン ◎キリスト教学Ⅰ	2	◎キリスト教学Ⅱ	2		4	
		リテラシー ◎英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ △外国語2単位	4 2	△外国語2単位	2			12
	教養科目	◎【遠隔】データリテラシー	2					
		◎【長期】スタディスキル1(遠隔・学びの基盤)	1					
		◎ヘルスリテラシー	1					
		人文科学 2単位分を選択	2				2	4
	社会科学 △日本国憲法B 2単位分を選択	2 2						4
自然科学 2単位分を選択	2					2	4	
小計		20	4	0		4	28	
合計		37	39	33	15		124	
履修単位範囲		34~44	34~48	30~46	26~46			

- ◎・・・卒業必修科目
- ・・・教職免許必修科目
- ・・・保育士資格必修科目
- △・・・教職免許選択必修科目
- ▽・・・大学独自設定科目
- ▲・・・保育士資格選択必修・選択科目

注1) △・・・小学校教諭免許課程選択必修科目「教科に関する専門的事項」科目は以下の科目群より10単位選択。

- 国語学概論 国語表現学
- 社会科概論
- 数学概論Ⅰ 数学概論Ⅱ
- 理科概論Ⅰ 理科概論Ⅱ
- 生活科概論
- 音楽基礎
- 造形基礎
- 家庭概論Ⅰ 家庭概論Ⅱ
- 体育概論
- 小学校英語

注2) 小学校・幼稚園教諭免許課程の大学独自設定科目は学生便覧内表1 F科目群から2単位、表2 F科目群から9単位選択。

注3) 保育士養成課程選択科目は学生便覧内「本学における保育士養成専攻科目」③選択科目より6単位以上選択。

注4) 3年次転編入生の履修単位上限は3年次60単位、4年次52単位。

注5) 4年次および学則第30条に定める留学から帰国した年度の履修単位数は、最低単位数以下であってもよい。

注6) 教職免許を取得する者は、免許法施行規則第66条6により、共通科目教養科目社会科学領域「日本国憲法A」、「日本国憲法B」(各2単位)より2単位を選択必修として修得しなければならない。

注7) 教職免許を取得する者は、免許法施行規則第66条6により、共通科目基幹科目必修科目「ヘルスリテラシー」(1単位)の履修、共通科目教養科目超越科学「スポーツ学A」、「スポーツ学B」(各1単位)の選択履修により、合計2単位を修得しなければならない。

注8) 共通科目基幹科目の外国語は、必修又は選択必修外国語から、必修英語4単位(英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ)に加え、英語4単位(中級英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ)又は英語以外及び母語以外の同一言語の外国語4単位(初級Ⅰ・Ⅱ(日本語の場合は日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの中から2つ))の計8単位を修得しなければならない。

注9) 共通科目教養科目の超越科学は、共通科目の卒業要件単位数には含まれない(卒業所要単位数には算入される)。

注10) 毎年度の開講科目の調整や各自の単位修得状況により、必ずしも本履修モデルとおりの履修が可能とは限らない。各自で卒業要件及び時間割を参照の上、履修計画を立てること。

注11) 卒業に必要な科目の単位を修得できなかった場合は、翌年度以降に再履修すること。その際、各自で履修計画を再検討すること。

履修モデル（小幼免許型）

科目区分		1年次	2年次	3年次	4年次	履修単位数	卒業要件		
専攻科目	演習・卒業論文に関する科目	◎基礎演習	1	◎演習Ⅰ	4◎演習Ⅱ ◎卒業論文	4 4	13		
	保育に関する科目	◎●保育原理	2	▽●障害児保育論	2		4		
	教育に関する科目	(1) 教育学	◎◎●教育の理念と歴史 ◎▲▲教育の制度と経営	2 2	2◎外国語コミュニケーション	2		15	
		(2) 教育心理学	◎◎●発達と学習の心理学 ◎●子どもの理解と援助	2 1	2◎▲教育相談	2			
	(1) 保育の内容	◎▲幼児と人間関係 ◎●幼児と言葉 ◎●幼児と表現（音楽） ◎●幼児と表現（造形）	1 1 1 1	1◎●幼児と健康 1◎▲幼児と環境	1 1			6	
		(2) 保育内容の指導法	◎●保育内容（人間関係）	2	2◎●カリキュラム論 2◎▲教育方法論	2 2		16	
	(3) 教科の内容	△国語学概論 △生活科概論 △小学校英語	2 2 2	2△社会科概論 2△数学概論Ⅰ 2▽身近な現象の観察と科学	2 2 2	2▽絵本学 2▽音楽概論 2▽▲造形応用Ⅱ	2 2 1	17	
		(4) 教科等の指導法	◎生徒指導論（進路指導を含む）	2	2◎音楽科指導法 2◎図画工作指導法 2◎家庭科指導法 2◎教科指導法 2◎理科指導法 2◎生活科指導法 2◎外国語科（英語）指導法 2◎道徳教育の理論と方法 2◎特別活動・総合的な学習の指導法	2 2 2 2 2 2 2		28	
	保育・教育の実習等に関する科目	(2) 教育実習			◎教育実習指導（幼・小） ◎教育実習Ⅰ ◎教育実習Ⅲ ◎教育実習Ⅳ	1 2 2 2		7	
	(3) 実践演習				◎教職実践演習（幼・小）	2	2	2	
小計		21	43	29		15	108		
免許要件外の専攻科目と共通科目（超越科学領域含む）		△スポーツ学A	1				1		
共通科目	基幹科目	ライフデザイン	◎キリスト教学Ⅰ	2	◎キリスト教学Ⅱ	2		4	
		リテラシー	◎英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	4	△外国語2単位	2	△外国語2単位	2	12
			◎【遠隔】データリテラシー ◎【遠隔】デジタルリテラシー ◎ヘルスリテラシー	2 1 1					
	教養科目	人文科学	2単位分を選択	2		2単位分を選択	2	4	
		社会科学	△日本国憲法B	2		2単位分を選択	2	4	
		自然科学	2単位分を選択	2		2単位分を選択	2	4	
	小計		16	4	4	4	4	28	
合計		38	47	33	19	137	124		
履修単位数範囲		34～44	34～48	30～46	26～46				

- ◎・・・卒業必修科目
- ・・・教職免許必修科目
- ・・・保育士資格必修科目
- △・・・教職免許選択必修科目
- ▽・・・大学独自設定科目
- ▲・・・保育士資格選択必修・選択科目

注1) △・・・小学校教諭免許課程選択必修科目「教科に関する専門的事項」科目は以下の科目群より10単位選択。

国語学概論 国語表現学

社会科学概論

数学概論Ⅰ 数学概論Ⅱ

理科概論Ⅰ 理科概論Ⅱ

生活科概論

音楽基礎

造形基礎

家庭概論Ⅰ 家庭概論Ⅱ

体育概論

小学校英語

注2) 小学校・幼稚園教諭免許課程の大学独自設定科目は学生便覧表ⅠF科目群から2単位、表2F科目群から9単位選択。

注3) 保育士養成課程選択科目は学生便覧表Ⅰ「本学における保育士養成専攻科目」③選択科目より6単位以上選択。

注4) 3年次転編入生の履修単位数は3年次60単位、4年次52単位。

注5) 4年次および学則第30条に定める留学期間から帰国した年度の履修単位数は、最低単位数以下であってもよい。

注6) 教職免許を取得する者は、免許法施行規則第66条6に「日本国憲法B」（各2単位）より2単位を選択必修として修得しなければならない。

注7) 教職免許を取得する者は、免許法施行規則第66条6により、共通科目基幹科目必修科目「ヘルスリテラシー」（1単位）の履修、共通科目教養科目超越科学「スポーツ学A」、「スポーツ学B」（各1単位）の選択履修により、合計2単位を修得しなければならない。

注8) 共通科目基幹科目の外国語は、必修又は選択必修外国語から、必修英語4単位（英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ）に加え、英語4単位（中級英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ）又は英語（日本語以外及び母語以外の同一言語の外国語4単位（初級Ⅰ・Ⅱ（日本語の場合は日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの中から2つ））の計8単位を修得しなければならない。

注9) 共通科目教養科目の超越科学は、共通科目の卒業要件単位数には含まれない（卒業所要単位数には算入される）。

注10) 毎年度の開講科目の調整や各自の単位修得状況により、必ずしも本履修モデルとおりの履修が可能とは限らない。各自で卒業要件及び時間割を参照の上、履修計画を立てること。

注11) 卒業に必要な科目の単位を修得できなかった場合は、翌年度以降に再履修すること。その際、各自で履修計画を再検討すること。

履修モデル（幼保免許資格型）

科目区分		1年次	2年次	3年次	4年次	履修単位数	卒業要件	
演習・卒業論文に関する科目		◎基礎演習	1	◎演習Ⅰ	4◎演習Ⅱ ◎卒業論文	4 4	13	
保育に関する科目	(1)保育学	◎●保育原理 ●保育者論	2●乳児保育Ⅰ 2●障害児保育論	2●乳児保育Ⅱ	1●保育実践の心理学	2	11	
	(2)福祉学	●児童福祉学概論	2●子どもの健康と安全	1▽相談援助・保育相談支援	2	2	14	
	(3)健康学	●社会福祉学 ●社会的養護Ⅰ ●社会的養護Ⅱ	2●子どもの健康と安全 2●子どもの食と栄養	2	2			
教育に関する科目	(1)教育学	◎◎●教育の理念と歴史 ○▲教育の制度と経緯	2○教師論 2○特別支援教育概論	2○外国語コミュニケーション	2	2	15	
	(2)教育心理学	◎◎●発達と学習の心理学 ◎●子どもの理解と援助	2◎●発達と学習の心理学 ◎●子どもの理解と援助	2◎▲教育相談	2	2		
保育・教育の内容と方法に関する科目	(1)保育の内容	○▲幼児と人間関係	1◎●幼児と健康	1			6	
		○●幼児と言葉 ○●幼児と表現（音楽） ○●幼児と表現（造形） ○●保育内容（人間関係）	1○▲幼児と環境 1 1 1	1				
	(2)保育内容の指導法	◎●保育内容（言葉） ◎●保育内容（表現） ◎●保育内容（健康） ◎●保育内容（環境） ◎●カリキュラム論 ▲●家庭概論Ⅰ	2◎●保育内容総論 ◎●保育内容（言葉） ◎●保育内容（表現） ◎●保育内容（健康） ◎●保育内容（環境） ◎●カリキュラム論 ▲●家庭概論Ⅰ	2◎▲教育方法論	2		2	16
		(3)教科の内容	▽給本学 ▽身近な現象の観察と科学 ▽▲音楽（アンサンブル）	2 2 1	2 2 1		7	
保育・教育の実習等に関する科目	(1)保育実習			●保育実習指導Ⅰ ●保育実習Ⅰ	2●保育実習指導Ⅱ・Ⅲ 4▲保育実習Ⅱまたは▲保育実習Ⅲ	1 2	9	
	(2)教育実習			○教育実習指導（幼・小） ○教育実習Ⅰ ○教育実習Ⅱ	1 2 2	1 2 2	5	
	(3)実践演習			○●保育実践演習 ○●教職実践演習（幼・小）	2 2	2 2	4	
小計		22	30	31		17	100	
免許要件外の専攻科目と共通科目（超越科学領域含む）		△スポーツ学B	1				1	
共通科目	基幹科目	ライフデザイン	◎キリスト教学Ⅰ	2◎キリスト教学Ⅱ	2		4	
		リテラシー	◎英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ ◎【適応】データリテラシー ◎【選修】STEMsスキル（健康・学びの基盤） ◎ヘルスリテラシー	4 2 1 1	△外国語2単位 △外国語2単位	2 2		12
	教養科目	人文科学	2単位分を選択	2	2単位分を選択	2		4
		社会科学	△日本国憲法A △日本国憲法B	2 2				4
		自然科学	2単位分を選択	2	2単位分を選択	2		4
	小計		16	10	2		0	28
合計		39	40	33	17		129	
履修単位数範囲		34~44	34~48	30~46	26~46		124	

- ◎・・・卒業必修科目
- ・・・教職免許必修科目
- ・・・保育士資格必修科目
- △・・・教職免許選択必修科目
- ▽・・・大学独自設定科目
- ▲・・・保育士資格選択必修・選択科目

注1) △・・・小学校教諭免許課程選択必修科目「教科に關する専門的事項」科目は以下の科目群より10単位選択。

- 国語学概論 国語表現学
- 社会科学概論
- 数学概論Ⅰ 数学概論Ⅱ
- 理科概論Ⅰ 理科概論Ⅱ
- 生活科概論
- 音楽基礎
- 造形基礎
- 家庭概論Ⅰ 家庭概論Ⅱ
- 体育概論
- 小学校英語

注2) 小学校・幼稚園教諭免許課程の大学独自設定科目は学生便覧内表1 F科目群から2単位、表2 F科目群から9単位選択。

注3) 保育士養成課程選択科目は学生便覧内「本学における保育士養成専攻科目」③選択科目より6単位以上選択。

注4) 3年次転編入生の履修単位数上限は3年次60単位、4年次52単位。

注5) 4年次および学則第30条に定める留学から帰国した年度の履修単位数は、最低単位数以下であってもよい。

注6) 教職免許を取得する者は、免許法施行規則第66条6により、共通科目教養科目社会科学領域「日本国憲法A」、「日本国憲法B」（各2単位）より2単位を選択必修として修得しなければならない。

注7) 教職免許を取得する者は、免許法施行規則第66条6により、共通科目基幹科目必修科目「ヘルスリテラシー」（1単位）の履修、共通科目教養科目超越科学「スポーツ学A」、「スポーツ学B」（各1単位）の選択履修により、合計2単位を修得しなければならない。

注8) 共通科目基幹科目の外国語は、必修又は選択必修外国語から、必修英語4単位（英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ）に加え、英語4単位（中級英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ）又は英語以外及び母語以外の同一言語の外国語4単位（初級Ⅰ・Ⅱ（日本語の場合は日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの中から2つ））の計8単位を修得しなければならない。

注9) 共通科目教養科目の超越科学は、共通科目の卒業要件単位数には含まれない（卒業所要単位数には算入される）。

注10) 毎年度の開講科目の調整や各自の単位修得状況により、必ずしも本履修モデルとおりの履修が可能とは限らない。各自で卒業要件及び時間割を参照の上、履修計画を立てること。

注11) 卒業に必要な科目の単位を修得できなかった場合は、翌年度以降に再履修すること。その際、各自で履修計画を再検討すること。

履修モデル（小幼保免許資格型）

科目区分		1年次	2年次	3年次	4年次	履修単位数	卒業要件	
演習・卒業論文に関する科目		◎基礎演習	1	◎演習Ⅰ	◎演習Ⅱ ◎卒業論文	4 4 4	13	
保育に関する科目	(1) 保育学	◎●保育原理 ●保育者論	2 2	●乳児保育Ⅰ ●乳児保育Ⅱ ▽●障害児保育論	2 2 2	2 2 2	11	
	(2) 福祉学	●児童福祉学概論	2	▽●相談援助・保育相談支援	2	2	14	
	(3) 健康学	●社会福祉学 ●社会的養護Ⅰ ●社会的養護Ⅱ	2 2 1	●子どもの保健 ●子どもの健康と安全 ●子どもの食と栄養	2 2 1	2 2 1		
教育に関する科目	(1) 教育学	◎●●教育の理念と歴史 ○▲教育の制度と経営	2 2	○●●特別支援教育概論	2	2	15	
	(2) 教育心理学	◎○●発達と学習の心理学 ○●子どもの理解と援助	2 1	○●●教育相談	2 1	2 1		
保育・教育の内容と方法に関する科目	(1) 保育の内容	○▲幼児と人間関係	1	○●●幼児と健康	1		6	
		○●●幼児と言葉 ○●●幼児と表現（音楽） ○●●幼児と表現（造形） ○●●保育内容（人間関係）	1 1 1 2	○▲●幼児と環境 ○●●保育内容総論 ○●●保育内容（言葉） ○●●保育内容（表現） ○●●保育内容（健康） ○●●保育内容（環境）	1 2 2 2 2	1 2 2 2		16
	(2) 保育内容の指導法	△国語学概論 △生活科概論 △音楽基礎 △小学校英語	2 2 1 2	△△△△△△△△ △△●●家庭概論Ⅰ	1 2	▽▽▽児童文学 ▽▽身近な現象の観察と科学 ▽▽体育実技Ⅰ	2 2 1	
		(4) 教科等の指導法	○生徒指導論（進路指導を含む）	2	○教育の課程と方法（情報通信技術の活用を含む） ○国語科指導法 ○社会科指導法 ○算数科指導法 ○理科指導法 ○生活科指導法 ○外国語科（英語）指導法 ○道徳教育の理論と方法 ○特別活動・総合的な学習の指導法	2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2	28
保育・教育の実習等に関する科目	(1) 保育実習			●保育実習指導Ⅰ ●保育実習Ⅰ ○教育実習指導（幼・小）	2 4 1	2 2 1	9	
	(2) 教育実習			○教育実習Ⅰ ○教育実習Ⅱ ○教育実習Ⅲ ○教育実習Ⅳ	2 2 2 2	2 2 2 2		7
	(3) 実践演習			●●●●●●●● ○●●●●●●●●	2 2	2 2	4	
小計		31	42	43	22	138		
免許要件外の専攻科目と共通科目（超域科学領域含む）					△スポーツA	1	1	
共通科目	基幹科目	ライフデザイン	◎キリスト教Ⅰ	◎キリスト教Ⅱ			4	
		リテラシー	◎英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ ◎ [選限] データリテラシー ◎ [選限] スタディスキル（読書・学びの基力） ◎ヘルシリラテラシー	△△△△△△△△ △△△△△△△△	2 2	2 2	12	
	教養科目	人文科学				4単位分を選択	4	4
		社会科学				△日本国憲法A △日本国憲法B	2 2	4
		自然科学				4単位分を選択	4	4
小計		10	6	0	12	28		
合計		41	48	43	35	167	124	
履修単位数範囲		34~44	34~48	30~46	26~46			

- ◎・・・卒業必修科目
- ・・・教職免許必修科目
- ・・・保育士資格必修科目
- △・・・教職免許選択必修科目
- ▽・・・大学独自設定科目
- ▲・・・保育士資格選択必修・選択科目

注1) △・・・小学校教職免許課程選択必修科目「教科に關する専門的事項」科目は以下の科目群より10単位選択。

- 国語学概論 国語表現学
- 社会科概論
- 数学概論Ⅰ 数学概論Ⅱ
- 理科概論Ⅰ 理科概論Ⅱ

生活科概論

- 音楽基礎
- 造形基礎
- 家庭概論Ⅰ 家庭概論Ⅱ
- 体育概論
- 小学校英語

注2) 小学校・幼稚園教職免許課程の大学独自設定科目は学生便覧内表1 F科目群から2単位、表2 F科目群から9単位選択。

注3) 保育士養成課程選択科目は学生便覧内「本学における保育士養成専攻科目」③選択科目より6単位以上選択。

注4) 3年次転編入生の履修単位数上限は3年次60単位、4年次52単位。

注5) 4年次および学則第30条に定める留学から帰国した年度の履修単位数は、最低単位数以下であってもよい。

注6) 教職免許を取得する者は、免許法施行規則第66条6により、共通科目教養科目社会科学領域「日本国憲法A」、「日本国憲法B」（各2単位）より2単位を選択必修として修得しなければならない。

注7) 教職免許を取得する者は、免許法施行規則第66条6により、共通科目基幹科目必修科目「ヘルシリラシー」（1単位）の履修、共通科目教養科目超域科学「スポーツ学A」、「スポーツ学B」（各1単位）の選択履修により、合計2単位を修得しなければならない。

注8) 共通科目基幹科目の外国語は、必修又は選択必修外国語から、必修英語4単位（英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ）に加え、英語4単位（中級英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ）又は英語以外及び母語以外の同一言語の外国語4単位（初級Ⅰ・Ⅱ（日本語の場合は日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの中から2つ））の計8単位を修得しなければならない。

注9) 共通科目教養科目の超域科学は、共通科目の卒業要件単位数には含まれない（卒業所要単位数には算入される）。

注10) 毎年度の開講科目の調整や各自の単位修得状況により、必ずしも本履修モデルとおりの履修が可能とは限らない。各自で卒業要件及び時間を参照の上、履修計画を立てること。

注11) 卒業に必要な科目の単位を修得できなかった場合は、翌年度以降に再履修すること。その際、各自で履修計画を再検討すること。